

多数のご参加を
お願いいたします

～ 国際リニアコライダーを東北に ～

ILC誘致促進集会

本県の北上山地が有力な候補地になっている国際リニアコライダー（ILC）は、世界最先端の素粒子研究施設であり、また、世界を代表する頭脳と企業が集結し、国際的な「知の拠点」が形成される計画となっております。

気仙管内の経済団体で組織する「気仙地区商工団体連絡会」は、産業振興、雇用創出などの経済効果だけでなく、学術、教育等々あらゆる分野に計り知れない効果をもたらすものと期待されるILC（国際リニアコライダー）を、真の復興のためのプロジェクトと位置付け、地域における意識の醸成や適切な受け入れ体制を図るため、「ILC誘致促進集会」を開催いたします。

多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時

平成29年 6月12日(月)14:30～16:30

会場

大船渡市民文化会館
リアスホール 大ホール

記念
講演

講師

岩手県 理事 兼 政策地域部 科学ILC推進室
室長 佐々木 淳 氏

主催

気仙地区商工団体連絡会
(大船渡商工会議所 陸前高田商工会 住田町商工会)

後援

岩手県 / 大船渡市 / 陸前高田市 / 住田町
大船渡市議会 / 陸前高田市議会 / 住田町議会
岩手県国際リニアコライダー推進協議会

(予定)

参加ご希望の方は、大船渡商工会議所（Tel26-2141）までご連絡ください。



■ ILCとは？

International linear Collider（国際リニアコライダー）とは、全長31キロメートルから50キロメートルの地下トンネルに建設される大規模研究施設のこと。世界最高・最先端の電子・陽電子衝突型加速器です。世界中の研究者が協力し、「世界に一つだけ」建設しようという計画が進んでいます。

■ ILCのしくみは？

地下約100メートル、全長31キロメートル～50キロメートルの地下トンネル内で、電子と陽電子を光速に近い速度まで加速させ、正面衝突させます。すると、宇宙誕生から1兆分の1秒後の状態が作り出されます。「ほんの一瞬」だけビッグバン（※1）直後の状態が再現され、質量をつかさどる「ヒッグス粒子」をはじめとして、さまざまな粒子があらわれます。

これらの粒子を測定することにより、どのようにして宇宙や物質が生まれたかという、人類が長年抱いてきた謎の解明に挑むことができます。また、加速器技術の応用範囲は、医療・生命科学から新材料の創出、情報・通信、計量・計測、環境・エネルギー分野まで多岐にわたると考えられています。

※1 ビッグバン

宇宙の始まりに起きたとされる大爆発のこと。ビッグバン理論は今から約138億年前に起こった爆発（ビッグバン）によってこの宇宙が始まり、引き続く宇宙膨張の中で、素粒子や原子、分子、星、銀河が創られたという理論。

■ ILCが建設されると

ILCが実現すれば、世界中から3000人近い研究者とその家族が暮らすようになり、多文化が共生する国際都市が東北につくられます。私たちの身近なところに国際的な「知の拠点」が形成され、最先端の研究を見られることは、子どもたちの知的好奇心を刺激し、夢を与えることにもなるでしょう。

■ ILCの建設スケジュールは？

2013年6月	加速器等の詳細な内容をまとめた技術設計報告書が完成
2013年8月	国内研究者が国内候補地を北上山地に一本化
2014年～2017年	国のILCに関する有識者会議で検討
2018年頃～	誘致表明、建設地決定、建設準備、建設着手（建設期間は約10年）
2030年頃	稼働開始

■ ILCと東日本大震災からの復興

ILCは、三陸沿岸にも近い世界最先端の素粒子研究施設となります。ILCを核とした、国内外の研究者が居住する国際学術研究都市の形成と、関連産業の集積等を図ることが、子どもたちの夢を育み、被災地を含めた東北全体の真の復興につながります。そのため岩手県では、東北の産学官と連携し、ILCの東北実現に取り組んでいます。